

安全祈願に行ってまいりました!!

1月5日(金)、当建設所の北牧所長ほか有志で伊賀市阿保の大村神社へ安全祈願に行ってまいりました。この祈願は毎年行っているもので、特に今年はダム本体工事着工を迎える年ということで、例年よりも一層安全への想いが込められました。

大村神社は、地域の守り神様として、また、土地の鎮め・地震除災の守り神様として古くから信仰を集めています。祀られている大村の神(息速別命: いこはやわけのみこと)は、第11代天皇である垂仁天皇の皇子で今から約2千年前に阿保の里にみえられたという由緒ある神社です。



安全祈願の様子

境内に鎮められている「^{かなめいし}要石」は、大地を揺るがす大なまずをしっかりと押さえていると伝えられています。

工事の安全と事業の進捗、そして、地域の安全と関係する皆様のご健康を祈願いたしました。新年を迎えて新たな気持ちで安全祈願を行い、平成34年度のダム完成に向けて事故無く安全に施工することを強く心に誓いました。

【総務課 大西誉朗】



鎮められている要石

転出者と転入者のご案内

転出者		
所属	氏名	異動先
・環境課長	竹澤秀史	本社(埼玉)
・工務課	青木秀昌	木津川ダム総合管理所(三重)
転入者		
所属	氏名	異動元
・環境課長	鍵田和彦	朝倉総合事業所(福岡)
・工務課兼環境課	藤岡奨	アジア開発銀行(フィリピン)

編集後記

2018年も早くも2月になり、これからまだまだ寒くなりそうですね。今月はずいぶん平昌オリンピックが始まります。頑張る選手達に刺激を受けて運動を始めようという方もおられるのではないのでしょうか。筆者も月末の駅伝参加に向けて体作りを始めます!

【広報誌発行事務局】

編集長	北牧(所長)		
デスク	大西(総務課長)	小谷口(工務課長)	
記者	関澤(総務課)	桐山(第二用地課)	
	赤尾(調査設計課)	NEW 藤岡(工務課)	
	河野(工事課)	佐々木(機械課)	

訂正

2018年1月号の記事に誤りがありましたので訂正いたします。2ページ下部の「先例ダムの勉強をしてきました」の記事内に記載している表「川上ダムとの比較」の堤体積の単位が「m³」となっておりますが、正しくは「万m³」でした。

イベントのお知らせ

伊賀上野・城下町のおひなさん
 開催日: 平成30年2月17日(土)~
 平成30年3月3日(土)
 開催場所: 伊賀市上野本町通り周辺
 問合せ先: 伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会
 (平日のみ)
 0595-22-9670



川上ダム通信

2018

2

月号



Vol. 149
Since 2005



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
 〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地 TEL: 0595-52-1661(代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
 (右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
 ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

川上ダム自然環境保全委員会を開催

12月26日(火)、川上ダム建設所ふれあいホールにおいて、「川上ダム自然環境保全委員会」を開催しました。

本委員会は、川上ダム建設事業における自然環境の保全対策について、有識者から指導・助言をいただくためのものです。

平成29年9月に川上ダム本体建設工事を契約したことから、今後工事が本格化していくこととなります。委員会ではダム本体工事に伴う騒音・振動や濁水等、周辺環境への様々な影響を出来る限り低減させるための取り組みや、川上ダムが目指していく環境保全の全体像等について審議していただきました。

委員の方々からは、「工事を短期間に終わることが、工事実施時の影響を極力少なくすることとなるので、事業者としてこれに努めること」等の指導・助言をいただきました。委員会でもいただいた指導・助言を真摯に受け止め、引き続き川上ダム周辺の自然環境の保全に努めてまいります。



委員会の様子

委員会当日は寒風吹き荒れる中、ダム建設予定地や、前深瀬川の流れを仮排水路トンネルへ切り替える工事(転流工)の予定場所の現地視察も行いました。今後とも周辺環境へ十分配慮しながら工事を進めてまいります。工事に伴い地域の皆様がお気づきの点等ございましたら当建設所へご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

委員会資料の詳細などは当建設所のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

【環境課 清水杏子】



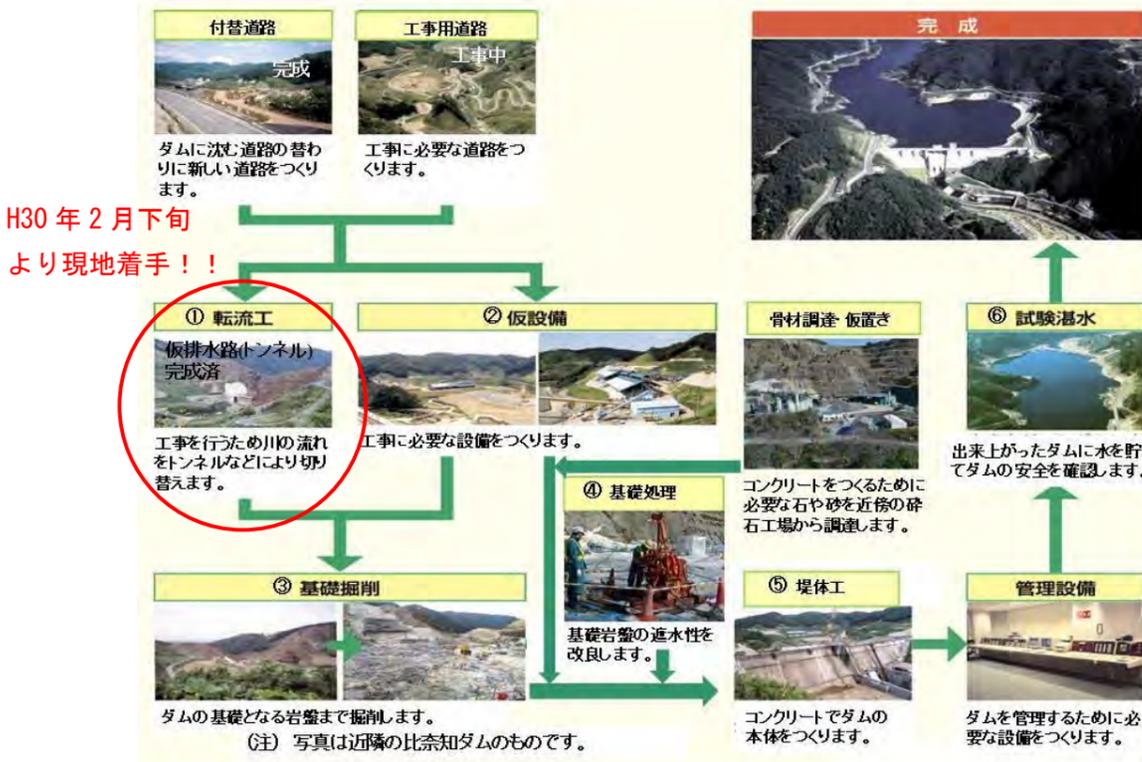
転流工の工事予定地での現地視察

ダム本体工事着手へ！

～工事全体の流れ～

昨年9月に大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体との間で契約を行いました「川上ダム本体建設工事」は、これまで施工方法の検討や現地の測量などの準備作業をすすめ、いよいよ今月から現地での工事を開始いたします。

ダム本体工事は、平成34年度まで数年かけてダムを完成させますが、いくつかの手順を踏むこととなります。川上ダム通信では次号以降で、より詳細で旬な情報をお伝えしていきますが、はじめに今月号で川上ダム本体工事全体の流れをご紹介します。



ダム本体工事の最初の工事として、(上図)①ダム工事を行うため川の流れを切り替える転流工に取り掛かります。これは前深瀬川を横切るように小さな堰堤を造って川を締め切り、川の流れをすでに完成している仮排水路トンネルへ切り替える作業です。その後、③基礎掘削、⑤堤体工(打設)、⑥試験湛水といった手順となります。平成34年度のダム完成に向けて、工期遵守およびコスト削減を図りつつ、安全第一で工事を進めてまいります。

工事の状況については、次号以降の川上ダム通信及び現場見学会等を通じてお知らせしてまいりますので、地域にお住まいの皆様には引き続き、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

【工事課 市川滋己】

川上ダム本体工事スケジュール						
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
付替道路	■					
工事用道路	■	■				
転流工		■ 締切工			■ 閉塞工	
仮設備		■	■			
基礎掘削		■				
基礎処理			■	■	■	
堤体工・堤頂工			■	■	■	
管理設備			■	■	■	
試験湛水					■	■

(注) 工事工程は、工事の進捗により、今後変更になる場合があります。

川上ダム本体工事受注者紹介

川上ダム本体建設工事を受注しました大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体のメンバーです。よろしくお願いいたします。

写真左から乾 浩之主任、丸井清猛副所長、藤原宗一工事長、中尾 久所長、上高克弘現場代理人、小俣光弘監理技術者、蔵元一成副所長、水野敬久副所長です。現在は技術系職員計8名で、今年2月からの現場工事着工に向け工事計画の検討を行っています。



地元の皆様や水資源機構の皆様と協力して、安全第一で立派なダムが完成できるように最新の技術を用いて工事を進めていきたいと考えています。

今後、長期にわたり何かとお世話になることも多くなると思いますが、よろしくお願いいたします。

【川上ダム本体建設工事 JV】

ダム本体建設工事説明会 (川上区・青山支所管内住民自治協議会)

2月下旬からダム本体建設工事が始まるのを前に、工事の内容や方法についての説明会を当建設所ふれあいホールにおいて、1月14日(日)には川上区の皆様に対して、1月22日(月)には青山支所管内住民自治協議会の皆様に対して、開催させていただきました。

川上区の皆様に対する説明会では14名の方に、青山支所管内住民自治協議会に対する説明会では35名の方にお集まりいただき、ダム本体工事の内容や流れ、工事の作業時間、工事関係車両の運行経路や工事の実施に伴った環境への影響とその軽減策などについて説明を行いました。限られた時間の中ではありましたが、参加者の方々からご意見、ご質問をいただき、ありがとうございました。

当建設所では、今後も地域の皆様に対して、現場見学や説明会などを通じてダム本体建設工事の状況について情報発信するとともに、皆様のご意見等を踏まえながら、地域の皆様に愛されるダムの建設を進めていきたいと思っておりますので、引き続き、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【工事課 市川滋己】



川上区説明会の様子